

ストックちゃんが聞く!

資源管理教室



ステークホルダー会合

ってなあに?



ストックちゃん

魚を食べるのが大好きな、8歳の女の子。「毎日おいしい魚がずーっと食べ続けられますように」と、魚を増やそうとがんばる漁師さんを応援している。

2019年の新年号で登場したストックちゃん。あれから2年が過ぎて「少しは賢くなったよ」と胸を張るけれど、参加している「資源管理方針に関する検討会(通称・ステークホルダー会合)」では疑問に思うことも多い様子。水産研究・教育機構水産資源研究所水産資源研究センターの西田宏先生と市野川桃子先生に教えてもらうことにした。

利用と持続の両立を

西田先生 ストックちゃんは検討会に参加して、「新たな資源管理」がこれまでの考えと、どう違うか分かってきたかな?



今までは「ここまでするよ」って最低限の親魚量(BRミット)だけを残して、あとは獲ってしまっていた「ここまでするよ」って考えていたんだよね。

でも新しい資源管理では「これからはずっと魚を獲り続けられる」という範囲のぎりぎり最低限から少し増やして、「平均的にいけば魚が獲れる(最大持続生産量・MSY)」を目標にして、そこで資源を維持しようってここになったんだよね。

西田先生 その通り! 資源回復の目標をまず「見える化」したんだね。そして、目に見える目標が決まると今度

は、目標までの回復の道筋も事前に決めやすくなる、というのが大事なポイントなんだ。

「来年の漁獲をどうする?」と考えるのはとても大事なことで、そのような短期的な視点だけでなく、毎年変動する資源に対して目指す方向もコロコロ変わってしまう。そうすると「今は増えなくても仕方ない」増えなくてもかまわない」といった意見が出がちで、結局、その時々都合のいいシナリオを選ぶことになっちゃうし、後になってそれがよかったのか悪かったのかもあいまいなまままだ

回復計画のペースを配分



じゃあ、いつまでに目標に到達すればいいの? 100年後でもいいのかな?

市野川先生 資源回復の目標と期間、その手段をどうするかというのは、例えば山登りを考えると分かりやすいかも。山を測量して山頂がどこかを決めるのは科学者、もと

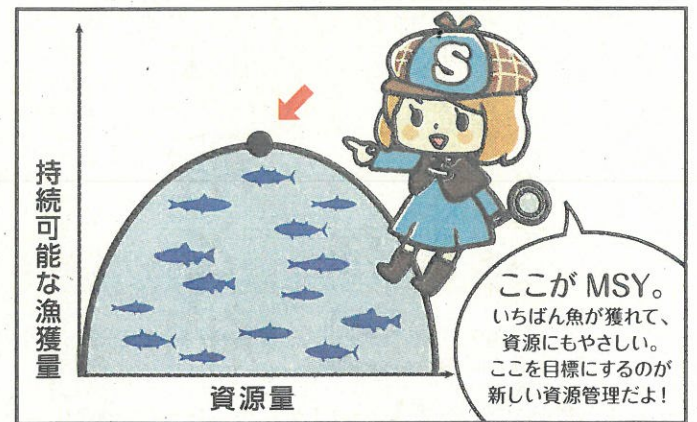
もと山頂を目標にしようって定めたのは新漁業法や国連海洋法、いつまでに山頂に行けばいいかと、おおまかな方針を示しているのが水産庁です。

水産庁の「水産政策の改革」についてでは、目標達成期間が「10年後」と挙げられているので、現状では10年を1つの区切りとして考えられています。



ふん。なんか、きつちり役割分担がなされてるんだね。でもそれなら、漁業者とか消費者とか、実際

西田先生(浮魚資源部長)と市野川先生(漁業情報解析部資源解析グループ長)



市野川先生 一定レベルの資源量を超えると混みすぎて回復量が減っちゃうし、その逆に資源量が減少しすぎちゃうとやっぱり回復量は減ってしまいます。MSYはこうした「資源量が多すぎる」「少なすぎる」の両方を避けて、回復量がいちばん高くなるところで親魚量を維持しようという考え方です。



餌や海洋環境の関係で、回復する速度には限界があるって聞いたよ。

西田先生 「日没までに山頂にたどり着く必要がある」とまでは決められているけど、そこまでのルートをどう選ぶかは「ステークホルダー会合」などで検討されている。

減少期のダメージ回避も

でも、海が冷たかったり暖かかったりして稚魚が生き残れなかつたら、「10年後」のスケジュールがずれちゃうんじゃないの?

市野川先生 確かに魚の稚魚の生存率や成長速度は海洋環境の変化に大きく影響を受けます。海は広いし魚の数も全部数えられないので「来年こうなる」と予測しても、フタを開けてみたら「全然違っていた」ことも結構あるんです。

そういう予測のずれがある中で、「今年は獲り過ぎて資源が減っちゃった」と思っても次の年にたくさん獲れるこ

獲り方のスケジュールを話し合う

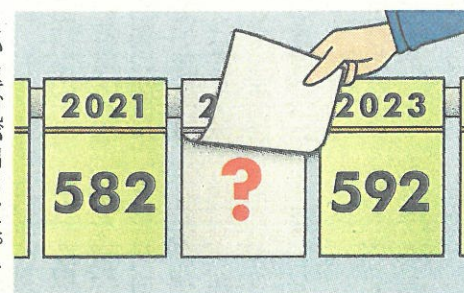
からね。

「獲っちゃだめ」
って厳しくなるだけ
かと思つた。

西田先生 資源が漁獲のせいで目標レベルよりも減少してしまつた時には、回復させることを考える必要があるけれど、そのために漁獲量を一気に減らさなきゃいけない。

漁獲は上方修正もされる

でも、将来の漁獲量予想で出た数字が、今の漁獲可能量(TAC)より少なくて、検討会に出ている漁業者さんや加工業者さんたちががっかりするようないふつもある。



市野川先生 検討会では10年後までの漁獲量の平均値を出していますが、これは獲り方の違いでどのくらい変わるかを見るためのもので、10年先の漁獲の上限を今決めていくというわけではないんです。

西田先生 特にマイワシ太平洋系群はここ数年、平均的な予想よりよい加入(子供の魚が生き残って資源に新たに加わる)が続いているから、22年の資源量・漁獲量は今の予測から上方修正される可能性もあるんじゃないかな。

水産研究・教育機構はマイワシの加入を卵や稚魚の段階から把握するための調査船調査をやっているけど、最新の調査でも加入が順調だという結果も出ています。

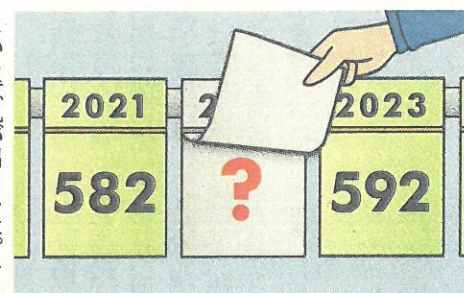
太平洋のマイワシで思い出した! 太平洋のマイワシでは管理方針を最初の3年間だけ安全係数(β)を1以上にしたよね。βが1以上なら資源が急激に減らないように、転ばぬ先の杖の役割を果たすって聞いたよ。だったら1より小さい値になるはずじゃないかな?

市野川先生 確かにMSYを達成する資源水準を確保・維持するために、βは1以下の値を乗じて達成確率を上げるのが一般的です。でもマイワシ太平洋系群は、現時点で親魚量がMSYを達成する目標管理基準値を上回っているって推測されています。

検討会では「資源が潤沢なはもつと獲らせてほしい」

つたら、今度は産業の方がダメージを受けてしまう。

漁業者や加工業者の皆さんが受けるダメージを避けながら、時間内に目標を達成するためのペース配分を、関係者(ステークホルダー)と一緒に考えていけるようになったのが、新しい資源管理の利点の一つなんだと思つたよ。



市野川先生 検討会では10年後までの漁獲量の平均値を出していますが、これは獲り方の違いでどのくらい変わるかを見るためのもので、10年先の漁獲の上限を今決めていくというわけではないんです。

西田先生 特にマイワシ太平洋系群はここ数年、平均的な予想よりよい加入(子供の魚が生き残って資源に新たに加わる)が続いているから、22年の資源量・漁獲量は今の予測から上方修正される可能性もあるんじゃないかな。

水産研究・教育機構はマイワシの加入を卵や稚魚の段階から把握するための調査船調査をやっているけど、最新の調査でも加入が順調だという結果も出ています。

太平洋のマイワシで思い出した! 太平洋のマイワシでは管理方針を最初の3年間だけ安全係数(β)を1以上にしたよね。βが1以上なら資源が急激に減らないように、転ばぬ先の杖の役割を果たすって聞いたよ。だったら1より小さい値になるはずじゃないかな?

市野川先生 確かにMSYを達成する資源水準を確保・維持するために、βは1以下の値を乗じて達成確率を上げるのが一般的です。でもマイワシ太平洋系群は、現時点で親魚量がMSYを達成する目標管理基準値を上回っているって推測されています。

検討会では「資源が潤沢なはもつと獲らせてほしい」

第一水産株式会社 築地魚市場株式会社 大都魚類株式会社 中央魚類株式会社 東都水産株式会社

取締役社長 田口弘之 取締役社長 吉田 猛 取締役社長 網野裕美 取締役社長 伊藤晴彦 取締役社長 江原 恒

感動を、けずりだそう。

マルトモ

「鹿児島県枕崎製造枯節」&
プレ節® PREMIUM
Dried bonito
「コウ・うまダブルブランド」

新年のお料理に
プレミアムな
かつお節をどうぞ。

好評発売中

鹿児島県枕崎製造の
プレミアムなかつお節を使用。
「おいしさ1.5倍」(当社一般品比)の
琥珀色が特長です。

「プレ節」25ミクロン
ソフトけずり 209袋
「プレ節」25ミクロン
花けずり 1.59×12袋
「プレ節」25ミクロン
花けずり 259袋/509袋

マルトモ

NOBLEICER
陸上用・船舶用全自動製氷機

鮮度保持に優れた氷を!
いま、最新の技術で氷需要に対応

好評 シャーベットアイスガン
プレート氷も角氷も簡単に
シャーベット氷に

株式会社 タガワ
本社・工場 〒287-0025 千葉県香取市本矢作1161-1
TEL 0478-59-2111 FAX 0478-59-1181
URL: <http://www.nobleicer.co.jp>
E-mail: tagawa@nobleice.co.jp